点検・評価の結果

政府統計コード	00500217	
基幹・一般の別(選択記入)	基幹統計調査	
調査の名称	木材統計調査（製材・合単板）	
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	○	重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
		国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
		月例経済報告に利用
	○	基幹統計の作成に利用
	○	基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	○	その他（「森林・林業基本法」（昭和39年７月９日制定）に基づく「森林・林業基本計画」（令和３年６月15日決定）の策定等に利用する「木材需給表」において、木材需給・供給量として利用）
特記事項		

①　調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 （整合している場合チェック）	☑ 1.調査の目的 ☑ 2.調査対象の範囲※ ☑ 3.報告者数等※（報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等） ☑ 4.報告事項とその基準期日※（報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間） ☑ 5.報告の方法※（報告を求めるために用いる方法） ☑ 6.報告を求める期間※ ☐ 7.集計事項※ ☑ 8.結果の公表方法及び期日※（調査結果の公表の方法及び期日） ☑ 9.使用する統計基準 ☑ 10.調査票情報の保存（調査票情報の保存期間及び保存責任者） ☑ 11.立入検査（基幹統計調査のみ） **一部不整合あり**

（注１）「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

（注２）不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討（予定）している事項がある場合はシート②で記載

点検・評価事項等 ＼ 不整合の項目	調査計画との整合性 不整合の概要 （該当項目に○を入力し、概要を記載。複数選択可能）	不整合が生じている場合の対応状況 対応方法 （複数選択可能）	対応状況 （選択記入）	左記対応の概要（自由記入）
7. 集計事項※	○ 未集計 復元推計 未公表 その他 特記事項（○をつけた項目の概要を記載してください） 調査項目のうち、調査計画の「集計しない事項」に明記していないものがあった。	○ 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定	次回の総務省申請時（令和10年予定）に調査計画を変更し、「集計しない事項」として記載する。

②　統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	☑ 課題なし □ 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む） □ その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）

③　必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移（自由記入。別紙も可）		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択（複数選択可）	目安としている指標の具体的な設定内容･考え方等（自由記入。別紙も可）	目安としている指標の設定時期（自由記入）	今回調査（又は前回調査）	前回調査（又は前々回調査）	前々回調査（又は３回前の調査）
１　調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況	○ 達成精度 回収率・回答率 回収調査票数 ○ カバレッジ その他 ○ 設定なし	（製材月別調査） 目標精度（全国） 10.0% （合単板月別調査） ・合単板月別調査は、都道府県別に単板製造用素材入荷量、普通合板生産量、特殊合板生産量の85%をカバーするよう調査対象数を算出。回収率の目標は設定していない。	（製材月別調査） 平成17年調査 （合単板月別調査） 目安としている指標は設定していない。	令和７年 （製材月別調査） ＜実績精度＞ 16.9～23.5% （合単板月別調査） ＜有効回答率＞ 96.2～98.7%	令和６年 （製材月別調査） ＜実績精度＞ 5.2～8.9% （合単板月別調査） ＜有効回答率＞ 97.4～98.7%	令和５年 （製材月別調査） ＜実績精度＞ 1.3～2.0% （合単板月別調査） ＜有効回答率＞ 97.5～100.0%